

# 中太閤山小学校活動報告

## ◆「ありがとうプロジェクト」

「ありがとうプロジェクト」として、日頃の感謝の気持ちを言葉で伝える活動に年間を通して取り組んだ。全校に見える形で掲示することにより、よりよい人間関係を築き、みんなで気持ちよく過ごしていこうとする意識の高まりが感じられた。



運動会でお世話になった人へのメッセージ



遠足でお世話になった人へのメッセージ

- ・第1弾「色団ごとにありがとうフラッグを作ろう」(6月)
- ・第2弾「ありがとうガーランドを作ろう」(12月)
- ・第3弾「卒業生に感謝の気持ちを伝えよう」(3月)

## ★ボランティア活動への協力★

### ●ベルマーク収集・赤い羽根共同募金・友情の絵はがき・書き損じハガキ

「ユネスコの寺子屋運動」等、活動の目的や意義を伝えることを大切にしたい。ボランティア委員会で作成したおたよりや校内放送等を利用し理解と協力を呼びかけた。

## ◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

委員会の児童たちは「全校児童に楽しんでボランティア活動に取り組んでほしい」と考え、みんなで話し合って活動を企画した。毎月10日を「中太あったかベルデー」とし、全校児童からベルマークを収集した。ボランティア委員会では、全校児童の意見を聞きながら、集まったベルマークを学校で使うことができる物と交換するために「ベルマーク総選挙」を行った。自分たちが毎月集めているベルマークが自分たちに役立つ形となって還元されると知ることによって、より収集意欲が高まった。



総選挙のお知らせ (投票する4つの候補を掲示した)

## ◆最後にひとこと

全校児童にボランティア活動に興味をもってもらおうと、様々な企画を立てた1年間だった。また、SDGsを達成するために、今自分にできることはないかを考える機会も設けた。活動した児童は、「新しい企画を進めていくことが楽しかった」「これからも継続してボランティア活動を行ってほしい」と感想を述べた。楽しく委員会活動に取り組んだり、全校児童を巻き込んだ企画をしたりすることで、子供たち一人一人が誰かのために働くことの心地よさを感じられたのではないかな。

児童たちが、自発的に社会の一員として活動しようとする意欲や思いやりの心をもってよりよく生きようとする心が育まれることを目指して活動に取り組みたい。



SDGs達成に向けて取り組んでいることを書いた付箋